

大雪ライオンズクラブ旗への出場権をかけて 平成19年度北海道・旭川地区リーグ兼第5回イレブン杯春季リーグ

平成19年度北海道・旭川地区リーグ兼第5回イレブン杯春季リーグが4月28日にコンサフィールド東川と花咲球技場で開幕しました。今年度はクラブ申請3チームを含む35チームが参加。6月に行われる決勝トーナメントに向けて予選リーグを戦っていきます。また、この予選リーグは8月の大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権（高円宮杯旭川地区2次予選）への出場権もかかっており、白熱した多く見られそうです。

第1節 4月28日（土）

第1節は4月28日コンサフィールド東川と花咲球技場の2会場で8試合が行われました。コンサフィールド東川での開幕戦は緑が丘とパステーク（光陽と当麻のクラブ申請チーム）が対戦しました。前半風上にたった緑が丘は宮下、三浦輝を中心にパステークゴールに迫ります。7分には三浦輝が先制点を奪うと、11分、17分には山口がディフェンスラインを抜け出して2点を追加します。後半はパステークが反撃、長根、田中が再三緑が丘ゴールを脅かしますが、緑が丘も中島を中心に堅い守りを見せます。53分にパステークは高橋がFKを直接決めて追い上げますが反撃もここまで。緑が丘が3対1で勝ちました。第2試合では永山が東神楽と対戦しました。永山は53秒に海田のシュートのリバウンドを上野が早々と先制ゴールをあげます。前半はこの1点だけでしたが、後半は海田が2得点。上野も2点目となる得点をあげて4対0で大勝しました。その他コンサドーレ旭川と啓北が順当に勝ち点3をあげました。



永山vs東神楽

花咲球技場での開幕戦は広陵とOSA旭川でした。地力に勝る広陵は2分に小板橋が先制点、9分に小板橋が追加点をあげると攻撃陣が大爆発。菅井が4得点、橋本がハットトリックの活躍を見せOSA旭川に圧勝しました。第3試合では増毛と富良野西が対戦。なかなかゴールが生まれない展開でしたが、36分に増毛山田が決勝点をあげ1対0で勝ちました。その他第2に試合では対馬の活躍で富良野東が港南をくだしました。また東川と聖園のクラブ申請チームであるashurは中原祥の5得点の活躍で東陽をくだしました。

コンサフィールド東川

- C 緑が丘3 - 1 (3 - 0) パステーク 三浦, 山口 (緑) 高橋 (パ)
- D 永山4 - 0 (1 - 0) 東神楽 上野, 海田 (永)
- A コンサドーレ旭川20 - 0 (9 - 0) 鷹 栖 石岡, 大沼, 小澤, 前田, 山田海, 越川, 志摩, 0・G (コ)
- E 啓北6 - 0 (1 - 0) 美 瑛 東海林, 大丸, 山内, 高橋竣, 藤原 (啓)

花咲球技場

- B 広陵12 - 0 (7 - 0) OSA旭川 橋本, 小板橋, 菅井, 松岡, 庄末, 森, 佐藤 (広)
- C 富良野東3 - 1 (0 - 1) 港南 植松, 対馬, 広瀬 (富) [警] 広瀬
- E 増毛1 - 0 (0 - 0) 富良野西 山田 (増)
- B ashur12 - 0 (9 - 0) 東陽 播磨, 角田, 中原, 渡辺, 江添, 宮本 (a)

第2節 4月29日（日）

第2節は愛宕中学校など3会場で12試合が行われました。愛宕中学校の第3試合では愛宕と増毛が対戦しました。試合は1点ずつを積み上げる接戦の展開となりました。増毛は19分に山田、46分には川瀧がゴールを決め、一時は逆転に成功します。しかし、粘る愛宕は52分越智のこの試合2点目の得点で追いつくと、54分工藤が決勝ゴール。3対2で増毛を振り切りました。

コンサフィールド東川ではコンサドーレ旭川、永山南、広陵といった実力チームが攻撃力を発揮し、大勝しました。第4試合では春光台が忠和と対戦。なかなかゴールが生まれず、1点を取り合うゲームとなりましたが、52分春光台は川島が決勝点を奪い1対0で勝利を収めました。

富良野東会場では4試合が行われました。第1試合では明星がシードチームの実力を発揮。下島の2得点と大平の得点で富良野東を3対0で下しました。第2試合はベスト16を占う上富良野と東光が対戦。上富良野の攻撃陣が爆発。14分に牧野が先制点をあげると、34分には柳川、終了間際には堀川が得点し、東光の得点を44分の中田の1点に抑え、貴重な勝ち点3をあげました。



パステークvs港南

愛宕中学校

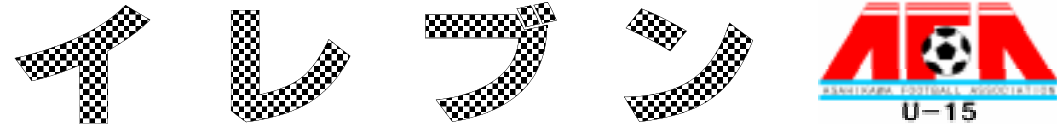
- C パステーク6 - 0 (4 - 0) 港南 橋本, 長根, 0・G, 田中, 堀井 (パ)
- A 留萌8 - 0 (2 - 0) 北都里見, 吉田拓, 吉田宰, 神田, 中土井琢 (留)
- E 愛宕3 - 2 (1 - 1) 増毛 越智, 工藤 (愛) 山田, 川瀧 (増)
- D 北門6 - 0 (4 - 0) 北星 小出陣, 大西, 青野, 佐藤 (北)

コンサフィールド東川

- A コンサドーレ旭川15 - 0 (7 - 0) 神居東 山田海, 石岡, 山田陽, 小澤, 前田, 大沼 (コ)
- E 永山南10 - 0 (5 - 0) 美瑛 西塚, 小谷, 巻口, 八重尾, 笠原 (永)
- B 広陵7 - 0 (4 - 0) ashur 橋本, 庄末, 福井, 菅井 (広) [警] 高畑 (a)
- C 春光台1 - 0 (0 - 0) 忠和 川島 (春) [警] 川島 (春) 篠田, 佐藤 (忠)

富良野東中学校

- C 明星3 - 0 (1 - 0) 富良野東 下島, 大平 (明)
- D 上富良野3 - 1 (1 - 0) 東光 牧野, 柳川, 堀川 (上) 中田 (東) [警] 柴田, 牧田 (上) 垂石 (東)
- B 中富良野13 - 0 (5 - 0) 東陽 斉藤, 吉武大, 佐藤, 吉武優, 阿部, 堀本, 岡 (中)
- E 東明8 - 0 (5 - 0) 富良野西 松井, 垣見, 徳廣, 木村, 澤田 (東)



コンサドーレ旭川全勝でグループ1位が決定！ 平成19年度北海道・旭川地区リーグ兼第5回イレブン杯春季リーグ

平成19年度北海道・旭川地区リーグ兼第5回イレブン杯春季リーグが4月30日、5月3日、4日の3日間で24試合が行われました。前半戦も佳境に入ってきましたが、コンサドーレ旭川は、グループリーグを圧倒的な勝利の連続で5連勝飾り、早々と決勝トーナメント進出とともに、大雪ライオンズクラブ旗への出場権を得ました。

第3節 4月30日(月)

第3節はコンサフィールド東川など3会場で12試合が行われました。コンサフィールド東川の第1試合では東神楽が神居と対戦。前半12分に水戸の得点で試合の主導権を握った東神楽は59分に須藤のため押しゴールで神居を2対0と下し、初勝利をあげました。第3試合ではashurが六合が対戦。1点を争う試合となりましたが、41分に播磨が決勝点をあげ、2勝目をあげました。

緑が丘中学校会場の第1試合ではシードチームの緑が丘と明星が対戦しました。前半から優位に試合を進める緑が丘は、16分山口が先制点あげると、24分には宮崎が追加点をあげます。53分には山口がだめ押しの3点目をあげ3対0で勝ちました。第3試合では実力伯仲の愛宕と東明が対戦しました。東明は徳廣を中心に中盤を支配しますが、愛宕も大橋らのがんばりで好試合を展開しました。4分東明は鈴木が先制点をあげます。愛宕も後半は巻き返し、何度か好機をつかみます。そして42分長尾が貴重な同点ゴールをあげ、1対1のドローに終わりました。

富良野東会場第2試合では北門と上富良野が対戦。7分北門は上村が先制点をあげます。しかし、東光を破って勢いにの上富良野は28分柳川が同点弾を決めます。しかし、地力勝る北門は31分大西、45分小出陣が得点をあげ3対1で上富良野を退けました。第4試合では中富良野と附属が対戦。グループリーグの順位に影響する両チームの対戦だけに一進一退の攻防となりましたが、51分大塚が決勝点をあげ附属が貴重な白星をあげました。



北星vs東光

コンサフィールド東川

- D 東神楽2 - 0 (1 - 0) 神居 水戸, 須藤(東)
- A コンサドーレ旭川11 - 0 (5 - 0) 北都 宮本, 前田, 小澤, 石岡, 大沼, 大野(コ)
- B ashur 1 - 0 (0 - 0) 六合 播磨(a)
- D 東光5 - 0 (1 - 0) 北星 野村, 高橋, 中田(東)

緑が丘中学校

- C 緑が丘3 - 0 (2 - 0) 明星 山口, 宮崎(緑)
- E 増毛5 - 1 (2 - 1) 美瑛 山田, 川淵(増) 広瀬(美)
- E 東明1 - 1 (1 - 0) 愛宕 鈴木(東) 長尾(愛)
- B 広陵24 - 0 (13 - 0) 東陽 福井, 佐藤, 橋本, 小坂橋, 庄末(広)

富良野東中学校

- E 永山南5 - 0 (3 - 0) 富良野西 笠原, 八重尾, 西塚, 稲沢(永)
- D 北門3 - 1 (1 - 1) 上富良野 上村, 大西, 小出陣(北) 柳川(上)

- C パステーク3 - 0 (2 - 0) 富良野東 橋, 高橋(パ)
- B 附属1 - 0 (0 - 0) 中富良野 大塚(附)

第4節 5月3日(木)

第4節は永山中学校とコンサフィールド東川で10試合が行われました。第1試合ではコンサドーレ旭川と神楽が対戦。序盤守備的に戦う神楽に対し、コンサドーレはペースを握れず一進一退の攻防が続きましたが、18分に山田海のアシストから前田が先制点をあげると、ボール支配率と運動量があがり神楽を圧倒。前田の5得点の活躍でグループリーグ突破を決めました。第4試合ではパステークと忠和が対戦。押し気味に試合を進めたのはパステークでしたが先制点は忠和があげます。ゴール正面からのミドルシュートを逢坂が決めました。しかし、パステークも28分月岡がGKとの1対1を冷静に決め、同点に追いつきます。後半もパステーク優勢に試合が進みますが、互いに決定力を欠き1対1のドローに終わりました。

永山会場の第1試合は啓北と永山南が対戦。前夜の雨によりスリッピーなグラウンドコンディションの中、中盤でのボールの奪い合いで試合の主導権を握ろうとします。8分啓北は高田のロングフィードに東海林がスピードにのって抜けだしGKをかわして先制点をあげます。しかし、永山南は29分八重尾がゴール前のFKを直接決め振り出しにもどします。後半は八重尾、西塚を中心とした永山南が完全に中盤を試合し、リズムをつかみません。しかし啓北は45分藤原のパスを受けた東海林が再び抜け出し右足で決勝点を決めました。第3試合は明星と春光台が対戦しました。明星は下島が中盤から果敢なドリブルで攻撃をしかけます。また守備陣では新山が春光台の攻撃を跳ね返します。春光台も谷、川島を中心に左サイドからパワフルな攻撃をしかけます。6分明星はドリブルで抜け出した下島が強烈なシュートを決め先制します。1点を追う春光台は谷、後藤らがチャンスをつかみませんが、明星GK竹原の鋭いセーブに阻まれ



永山vs神居
得点できず試合は1対0で明星が勝ちました。第5試合では北星と東神楽が対戦。東神楽は須藤が北星は佐川、鈴木がチャンスメイクをして攻撃をしかけます。決勝点は13分、C Kのこぼれ球を杉原が蹴りこみ1対0で北星を下しました。

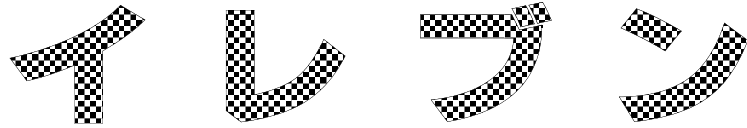
コンサフィールド東川

- A コンサドーレ旭川8 - 0 (3 - 0) 神楽 前田, 山田海, 大沼(コ)
 - B 附属5 - 0 (1 - 0) ashur 大塚, 田中, 大荷, 石ヶ森(附)
 - B OSA旭川3 - 0 (2 - 0) 東陽 太田, 渡辺(O)
 - C パステーク1 - 1 (1 - 1) 忠和 月岡(パ) 逢坂(忠) [警] 木村(忠)
 - E 愛宕5 - 0 (2 - 0) 美瑛 多田, 石崎, 庄司, 長尾, 越智(愛)
- ### 永山中学校
- E 啓北2 - 1 (1 - 1) 永山南 東海林(啓) 八重尾(永) [警] 高田(啓)
 - B 広陵4 - 0 (1 - 0) 六合 橋本(広)
 - C 明星1 - 0 (1 - 0) 春光台 下島(明)
 - D 永山11 - 0 (5 - 0) 神居 橋本, 海田, 上野, 五十嵐, 小林, 志摩(永)
 - D 東神楽1 - 0 (1 - 0) 北星 杉原(東) [警] 菅原(東), 斉藤(北)

第5節 5月4日(金) 留萌中学校 MC木藤(留萌)

第5節は留萌中学校を会場に2試合が行われました。第1試合ではコンサドーレ旭川が留萌と対戦。11分に山田海が先制点をあげると、19分、29分には大沼が連続得点。終わってみると7対0の大差でグループリーグを全勝で終了しました。第2試合は忠和が山根、沸坂の2得点などで港南を5対0と一蹴し、勝ち点3をあげました。

- A コンサドーレ旭川7 - 0 (3 - 0) 留萌 山田海, 大沼, 宮本, 前田(コ)
- C 忠和5 - 0 (3 - 0) 港南山根, 井沢, 沸坂(忠)



コンサドーレ旭川全勝でグループ1位が決定！ 平成19年度北海道・旭川地区リーグ兼第5回イレブン杯春季リーグ

平成19年度北海道・旭川地区リーグ兼第5回イレブン杯春季リーグは5月12日に花咲球技場で5試合が行われました。この5試合でほぼ全日程の半分が消化。各グループの順位争いも激化してきました。

第6節 5月12日(土)

第6節は5月12日花咲球技場で5試合が行われました。第1試合では東明と永山南が対戦。やや東明押し気味試合展開。42分永山南のDFがふー瞬に東明斉藤が先制点をあげます。対する永山南も西塚、八重尾を中心に試合を組み立て、何度か決定機を得ましたが、得点できず東明が1対0で勝ち、グループリーグ突破に向け大第4試合では永山と東光が対戦しました。10分東光は中田が先制点をあげますが、永山は25分に橋本が同点ゴールを決めます。後半は永山が攻勢にで、45分には小林、53分には畠が決め東光を突き放しました。第5試合では上富良野と北星が対戦。40分上富良野はPKを柳川が決めて先制しますが、ロスタイム北星は本田が抜け出し、ゴール左隅に決めドロウに持ち込みました。



花咲球技場
E 東明 1 - 0 (0 - 0) 永山南 斉藤(東)
D 北門 11 - 0 (6 - 0) 神居高橋哲, 青野, 小出陣, 滝沢, 中西(北)
C 春光台 4 - 0 (3 - 0) 富良野東 谷, 後藤(春)
D 永山 3 - 1 (1 - 1) 東光 橋本, 小林, 畠(永) 中田(東)
D 上富良野 1 - 1 (0 - 0) 北星 柳川(上) 本田(北)

第5回イレブン杯春季リーグ後半戦の展望

第6節が終わり、イレブン杯春季リーグ前半戦が終わりました。

グループAではコンサドーレ旭川が5連勝し、1位で抜け出しました。コンサドーレ旭川の消化試合が多いため、他チームは今後には試合が続きますが、第1戦で北都に完勝した留萌と神楽の2位争いが予想されます。留萌はスピードのある吉田拓、吉田幸の攻撃陣にDFでは里見と中心選手がそろっています。神楽としては2年生の首藤らの活躍で活路を見いだしたいところです。

グループBでは広陵が攻撃力を発揮。庄末、福井、橋本ら中心選手の活躍により、4試合で47点を奪う攻撃で4連勝。決勝トーナメント進出をほぼ確定しました。附属とashurが勝ち点6で2位グループづけていますが、ashurはすでに4試合を消化しているため苦しい戦い。附属は坂本、青木に大塚、楠の2年生コンビがからんで上位に食い込みたいところです。中富良野はエース堀本の活躍に期待が集まります。OSA旭川は北崎、山田の守備陣にエースの大久保で粘り強く戦いたいところです。

グループCでは、パステークが4試合を消化し勝ち点7で首位。しかし、緑が丘は2試合消化ながら勝ち点6を奪い実質的には1位の状況です。昨年度からのレギュラー滝口、三

浦輝、鷹橋など中心選手のレベルも高く、ライバルのパステーク、明星に勝っており予選突破の最有力となります。控え選手も含め層の厚さが強み。2位争いは播磨を田中、長根が活躍するパステーク、下島、新山と攻守の核がそろった明星、谷、後藤、川島と前線にスピードのある選手をそろえる春光台の争いとなりそうです。

グループDでは永山、北門が3連勝で好調。永山は小林、海田、上野のセンターラインがしっかりしています。北門は上村、小出陣など攻撃陣のスピードが強みで両者の争いとなりそうです。3位争いは柳川を擁する上富良野、鋭い動きを見せる須藤が中心の東神楽、中田の決定力にける東光となりそうですが、各チームとも拮抗したレベルにあり予断を許さない展開です。

強豪チームが集まり死のグループと化したグループEは永山南に勝った啓北と東明が一步抜け出した格好です。東明は徳廣、木村、鈴木を中心として力強い攻めを見せます。対する啓北は高橋、高田、G K石田のセンターラインが堅い守備を見せています。愛宕は越智、大橋、永山南は西塚、八重尾といった中心選手が今後の巻き返しを図ります。増毛も伝統のチームワークでグループリーグ突破をねらっており、今後も目の離せない展開となりそうです。

A	コンサ	神居東	北都	留萌	鷹栖	神楽		勝点	得点	失点	得失差
コンサドーレ旭川		15-0	11-0	7-0	20-0	8-0		15	61	0	61
神居東	0-15							0	0	15	-15
北都	0-11			0-8				0	0	19	-19
留萌	0-7		8-0					3	8	7	1
鷹栖	0-20							0	0	20	-20
神楽	0-8							0	0	8	-8
B	広陵	東陽	中富良	附属	ashur	六合	OSA	勝点	得点	失点	得失差
広陵		24-0			7-0	4-0	12-0	12	47	0	47
東陽	0-24		0-13		0-12		0-3	0	0	52	-52
中富良野		13-0		0-1				3	13	1	12
附属			1-0		5-0			6	6	0	6
ashur	0-7	12-0		0-5		1-0		6	13	12	1
六合	0-4				0-1			0	0	5	-5
OSA旭川	0-12	3-0						3	3	12	-9
C	緑が丘	明星	富良東	港南	パステ	忠和	春光台	勝点	得点	失点	得失差
緑が丘		3-0			3-1			6	6	1	5
明星	0-3		3-0				1-0	6	4	3	1
富良野東	0-3			3-1	0-3		0-4	3	3	11	-8
港南			1-3		0-6	0-5		0	1	14	-13
パステーク	1-3		3-0	6-0		1-1		7	11	4	7
忠和				5-0	1-1		0-1	4	6	2	4
春光台		0-1	4-0			1-0		6	5	1	4
D	永山	北門	上富良	神居	東神楽	東光	北星	勝点	得点	失点	得失差
永山				11-0	4-0	3-1		9	18	1	17
北門			3-1	11-0			6-0	9	20	1	19
上富良野		1-3					1-1	4	5	5	0
神居	0-11	0-11			0-2			0	0	24	-24
東神楽	0-4			2-0		1-0		6	3	4	-1
東光	1-3		1-3				5-0	3	7	6	1
北星		0-6	1-1		0-1	0-5		1	1	13	-12
E	啓北	東明	富良西	増毛	美瑛	永山南	愛宕	勝点	得点	失点	得失差
啓北					6-0	2-1		6	8	1	7
東明			8-0			1-0	1-1	7	10	1	9
富良野西		0-8		0-1		0-5		0	0	14	-14
増毛			1-0		5-1		2-3	6	8	4	4
美瑛	0-6			1-5		0-10	0-5	0	1	26	-25
永山南	1-2	0-1	5-0		10-0			6	16	3	13
愛宕		1-1		3-2	5-0			7	9	3	6